

# 三菱UFJ バリューストック

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2019年9月26日～2020年9月25日

第 20 期 決算日：2020年9月25日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により長期的にわが国の株式市場全体（TOPIX）の動きを上回る運用成果をめざして運用を行っています。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第20期末（2020年9月25日）

基準価額	11,530円
純資産総額	6,185百万円
騰落率	+0.7%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	50円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

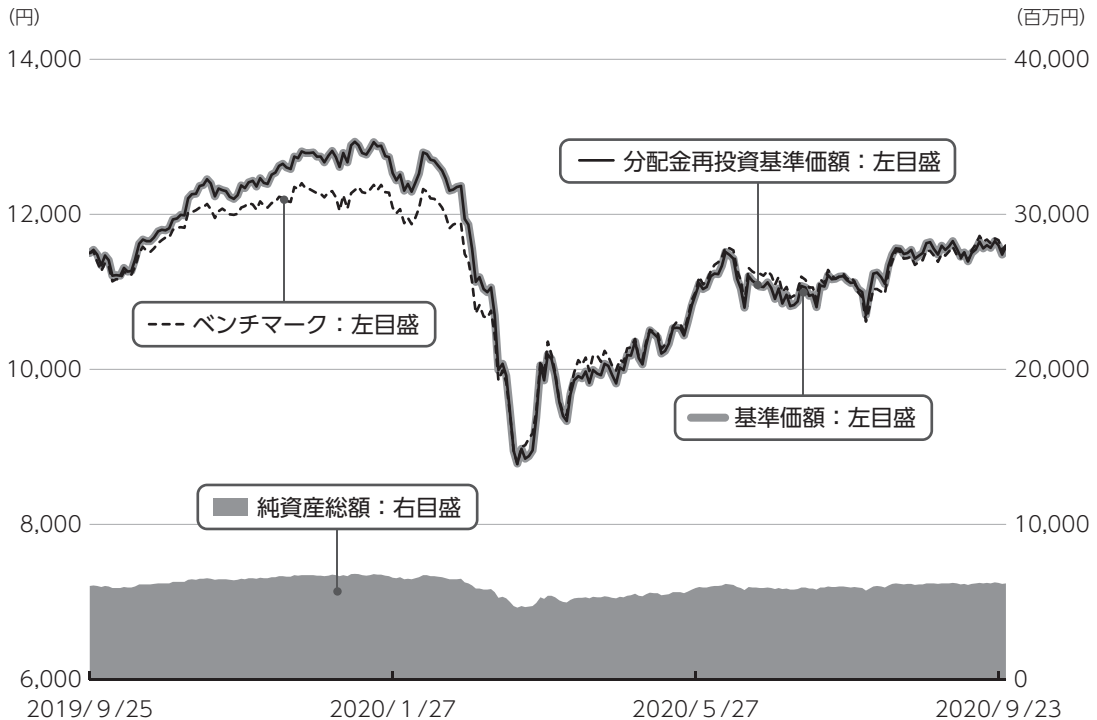
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第20期：2019年9月26日～2020年9月25日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第20期首	11,498円
第20期末	11,530円
既払分配金	50円
騰落率	0.7%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ0.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（0.9%）を0.2%下回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

新型コロナウイルス感染症対策として世界各国が積極的な金融政策や財政政策を実施し、国内株式市況が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などから国内株式市況が一時的に下落したことなどが基準価額の一時的な下落要因となりました。

**銘柄要因**

上位5銘柄・・・SGホールディングス、ノジマ、富士通、ライフコーポレーション、ソフトバンクグループ

下位5銘柄・・・IHI、リコー、国際石油開発帝石、東レ、ジェイ エフ イー ホールディングス

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、東証株価指数（TOPIX）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2019年9月26日～2020年9月25日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	194	1.704	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 92)	(0.808)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 92)	(0.808)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 10)	(0.088)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	15	0.129	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 15)	(0.129)	
合 計	209	1.833	

期中の平均基準価額は、11,398円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

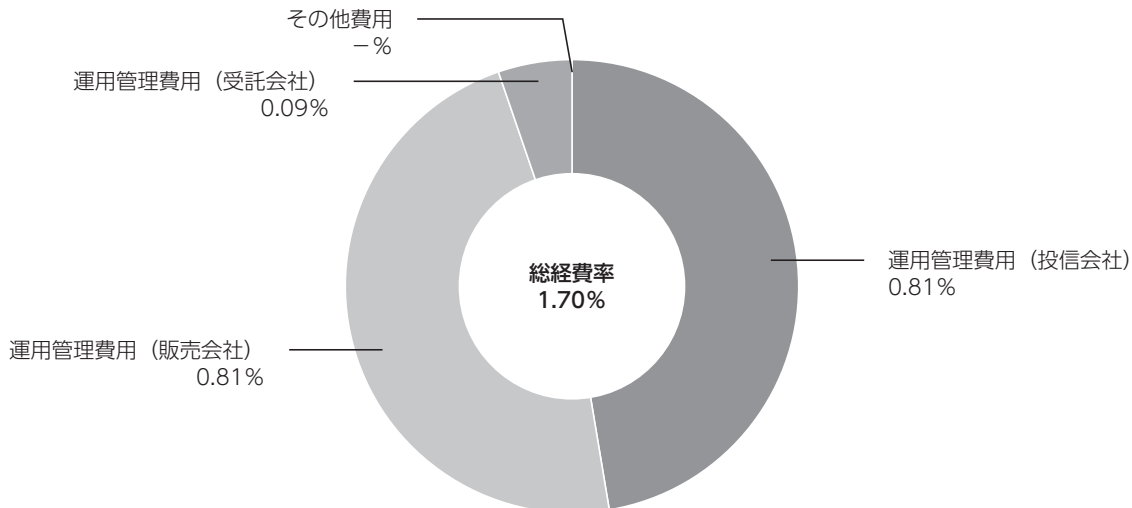
(注) 売買委託手数料は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

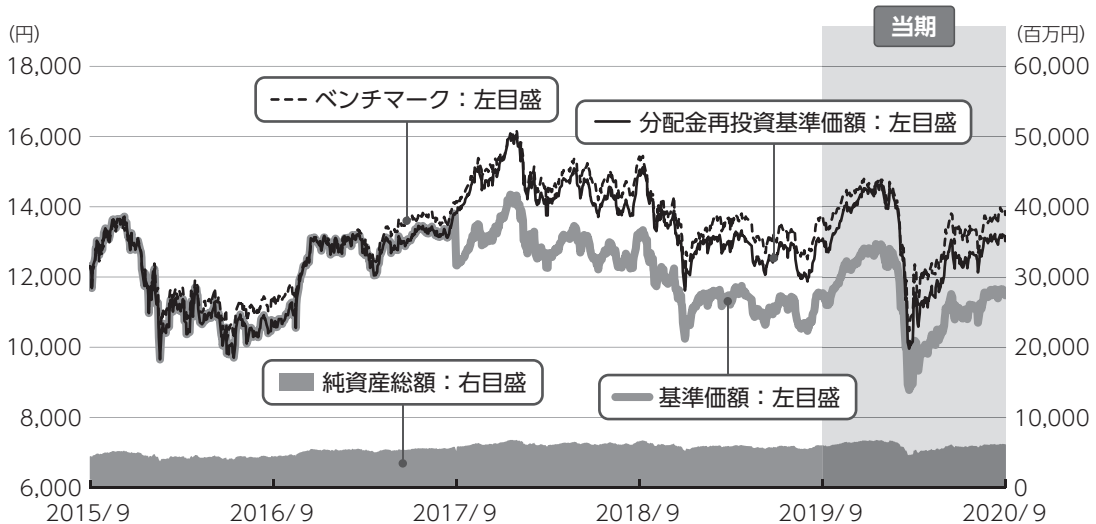
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年9月25日～2020年9月25日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2015年9月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2015/9/25 期初	2016/9/26 決算日	2017/9/25 決算日	2018/9/25 決算日	2019/9/25 決算日	2020/9/25 決算日
基準価額 (円)	12,307	10,589	12,341	13,213	11,498	11,530
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	1,500	150	0	50
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-14.0	30.7	8.3	-13.0	0.7
ベンチマーク騰落率 (%)	—	-8.1	25.2	8.9	-11.1	0.9
純資産総額 (百万円)	4,448	4,436	5,199	6,601	6,017	6,185

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第20期：2019年9月26日～2020年9月25日

## 投資環境について

### 国内株式市況

#### 国内株式市況は上昇しました。

期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商問題に対する懸念の後退や米国の堅調な雇用情勢などから、国内株式市況は上昇しました。

1月下旬から3月中旬にかけては、新型

コロナウイルスの世界的な感染拡大などから国内株式市況は大幅に下落しました。3月下旬から期末にかけては、世界各国による積極的な金融政策や財政政策、新型コロナウイルスの治療薬に関する報道が好感されたことなどから、国内株式市況は上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### 三菱UFJ バリューストック

当ファンドは、三菱UFJ バリューストックマザーファンド受益証券を通じてわが国の株式に投資しています。

### 三菱UFJ バリューストックマザーファンド

わが国の株式を主要投資対象とし、株価収益率（P E R）などのバリュエーションから見て割安な銘柄の中から、企業への取材などによる個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づき、銘柄選択を行っ

てまいりました。

組入銘柄数は46～53銘柄の範囲で推移させました。株価水準と業績動向などを勘案し、より投資妙味があると判断される銘柄への入れ替えを行いました。当期では、コーナン商事や第一生命ホールディングスなど27銘柄を新規に組み入れました。また、東京海上ホールディングスやライフコーポレーションなど23銘柄を全株売却しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 三菱UFJ バリューオープン

#### マザーファンド保有以外の要因

信託報酬等のコストがマイナス要因となりました。

#### マザーファンド保有による要因

##### プラス要因

**業種配分効果：**電気・ガス業、ゴム製品をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

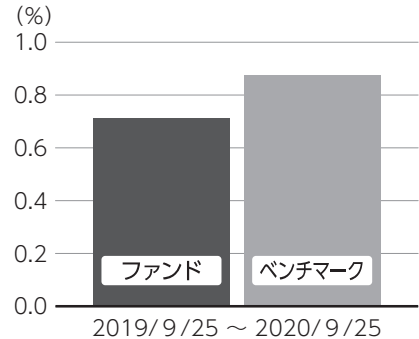
**銘柄選択効果：**SGホールディングスをベンチマークに対して概ねオーバーウェイトとしていたこと、ノジマをベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

##### マイナス要因

**業種配分効果：**鉱業をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたこと、医薬品をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

**銘柄選択効果：**セイコーホールディングス、日本電信電話をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

#### 基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第20期 2019年9月26日～2020年9月25日
当期分配金（対基準価額比率）	50 (0.432%)
当期の収益	50
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,688

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶三菱UFJ バリューオープン

三菱UFJ バリューマザーファンド受益証券の組入比率は、引き続き高水準を維持する方針です。国内株式の実質組入比率につきましても、概ね90%以上の水準を維持する方針です。

### ▶三菱UFJ バリューマザーファンド

今後も基本方針に従い、P E Rなどのバリュエーションから見て割安な銘柄の中から、企業独自の収益ドライバーを持った投資魅力度の高い銘柄へ投資を行うことにより、ベンチマークを長期的に上回る投資成果をめざして運用を行う所存で

す。

新型コロナウイルスの感染再拡大については予断を許さないものの、世界の多くの地域で経済活動は回復傾向にあります。また、ターニングポイントになるであろうワクチンの開発進展に対する期待も高まりつつあります。しかしながら、ワクチンが広く普及するには相応の時間を要すると見ており、当面の経済の回復ペースは緩やかなものになると考えています。運用にあたっては、新常态で需要拡大が見込まれる分野やコロナ禍を経て競争力の高まる企業などを重視して銘柄選択を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

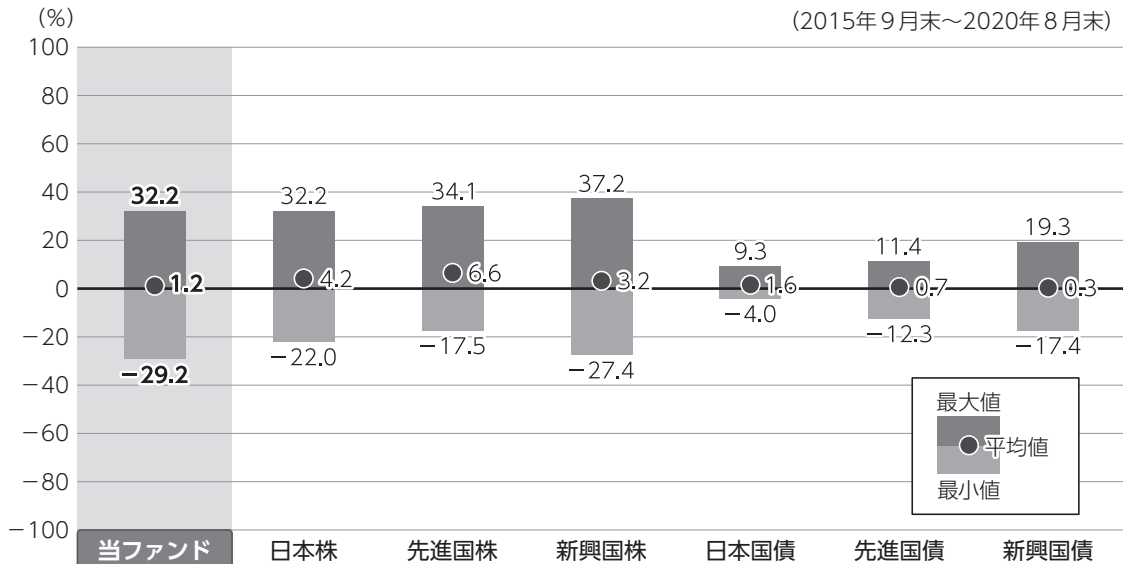
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（2000年9月29日設定）
運用方針	三菱UFJ バリューストックファンド受益証券を主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により長期的にわが国の株式市場全体（東証株価指数（TOPIX））の動きを上回る運用成果をめざします。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>三菱UFJ バリューストックファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の株式に投資することもできます。</p> <p>■三菱UFJ バリューストックファンド</p> <p>わが国の株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により、わが国の株式の指標であるTOPIXの動きを長期的に上回る運用成果をめざします。
分配方針	毎年1回決算（原則として9月25日。ただし、9月25日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益等が少額の場合には分配を行わないこともあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年9月から2020年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2020年9月25日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第20期末 2020年9月25日
三菱UFJ バリューマザーファンド	97.6%

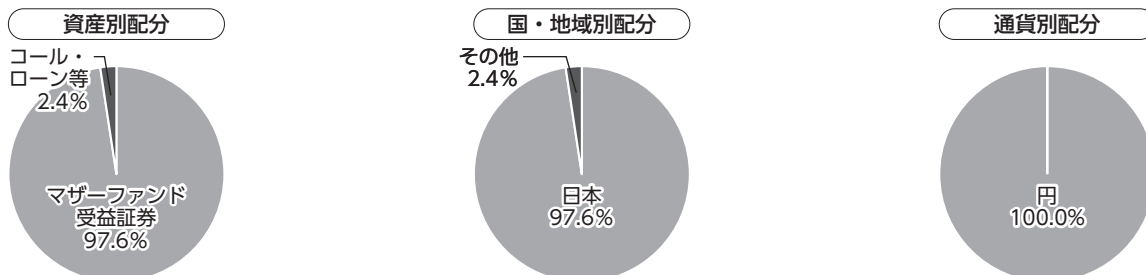
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第20期末 2020年9月25日
純資産総額 (円)	6,185,111,477
受益権口数 (口)	5,364,443,630
1万口当たり基準価額 (円)	11,530

※当期中において追加設定元本は941,782,345円  
同解約元本は 810,718,060円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

190118

2020年9月25日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ バリュースターファンド

## 基準価額の推移

2019年9月25日～2020年9月25日



## 1万口当たりの費用明細

2019年9月26日～2020年9月25日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料	33	0.131
(株 式)	(33)	(0.131)
合計	33	0.131

期中の平均基準価額は、24,844円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：51銘柄)

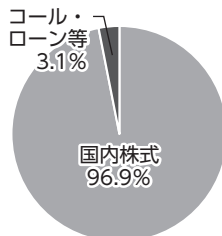
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	ソフトバンクグループ	株式	日本	情報・通信業	4.3
2	伊藤忠商事	株式	日本	卸売業	3.9
3	富士通	株式	日本	電気機器	3.5
4	良品計画	株式	日本	小売業	3.3
5	ソニー	株式	日本	電気機器	3.0
6	コーナン商事	株式	日本	小売業	2.9
7	ノジマ	株式	日本	小売業	2.9
8	大和ハウス工業	株式	日本	建設業	2.8
9	第一生命ホールディングス	株式	日本	保険業	2.6
10	本田技研工業	株式	日本	輸送用機器	2.5

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

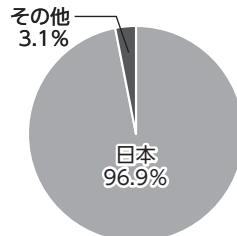
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

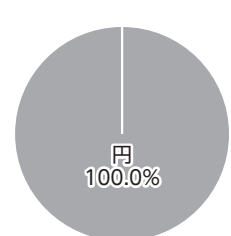
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『東証株価指数（TOPIX）』について

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信